

# 十九の春

本調子

合	合	乙	老	四	合	工	四	工	四	合	四	合	四	合	四
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

あなた	に	ほれた	のは	はる	で	し	た
四	上	中	上	四	工	五	工

ちよう	ど	じゅう	く	の	はる	で	し	た
合	四	合	四	上	中	上	四	上

いま	さ	ら	りえ	ん	と
合	四	上	四	工	五

ゆう	な	ら	ば	もと	の
中	上	四	乙	合	中

じゅう	く	に	して	お	く	れ
上	中	工	合	上	四	上

一、わたしがあなたにに惚れたのは  
 ちようど十九の春でした  
 いまさら離縁と言うならば  
 もとの十九にしておくれ

二、もとの十九にするならば  
 庭の枯れ木を見てごらん  
 枯れ木に花が咲いたなら  
 十九にするのもやすけれど

三、見捨て心があるならば  
 早くお知らせくださいね  
 年も若くあるうちに  
 思い残すな明日の花

四、一銭二銭の葉書さえ  
 千里万里と旅をする  
 同じコザ市に住みながら  
 会えぬ我が身のせつなさよ

五、主さん主さんと呼んだとて  
 主さんにや立派な方がある  
 いくら主さんと呼んだとて  
 一生忘れぬ片思い

六、奥山住まいのウグイスは  
 梅の小枝で昼寝して  
 春が来るよな夢を見て  
 ホケキヨホケキヨと鳴いていた